

問1 校庭の土に水がしみこむのに時間がかかるのは、土のつぶにどのような特 徴とくちょうがあるからですか。

問2 土のつぶの大きさと、水がしみこむ速さにはどのような関係がありますか。

問3 校庭の土には、どのような特 徴とくちょうがありますか。

問4 晴れた日に、気温がいちばん高くなるのは、太陽の高さがいちばん高くなる時間とくらべてどうなりますか。

問5 空に雲があるとき、天気が「晴れ」であるといえるのは、どのような状 態じょうたいのときですか。

問6 気温を正しくはかるとき、どのような場所ではかりますか。

問7 気温の折れ線グラフをかくとき、たてのじくには何を表す数値すうちを書きますか。

問8 1日の気温の変化がもっとも大きくなるのは、どのような天気の時ですか。

問9 気温を正しく測はかるとき、どのような場所の空気の温度（はか）を測るのが正しいですか。

問10 くもりや雨の日の1日の気温の変化は、晴れた日とくらべてどのようになりますか。

問11 砂場すなばの砂すなのように、土のつぶが大きい場所での水のしみこみ方はどうなりますか。

問12 土のつぶの大きさによってちがいが出る、水が地面の中に入って通っていく様子のことを何といいますか。

問13 気温をはかるとき、温度計に日光が直 接ちよくせつ当たらないようにするのはなぜですか。

問14 空に雲が少しあっても、青空が見えているときの天気の名前は何かですか。

問15 雨がふったあとに、地面の傾きかたむにそって、高いところから低いところに向かって動いていくものは何ですか。

問16 1日の気温の変化を表すために使われる、横のじくに時こくを、たてのじくに気温をとったグラフは何ですか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え つぶの大きさが小さいものが多いから。	校庭の土はつぶの大きさが小さいものが多いため、水が通り抜けにくく、しみこむのに時間がかかります。
問2	答え 土のつぶが大きいほど、水がしみこみやすい。	土のつぶが大きければ大きいほど、つぶとつぶの間のすき間が大きくなるため、水がしみこみやすくなります。
問3	答え つぶの大きさが小さいものが多く、水がしみこむのに時間がかかる。	校庭の土はつぶの大きさが小さいものが多く集まっているため、水がしみこむまでに時間がかかります。
問4	答え 太陽の高さがいちばん高くなる時間よりも遅い、午後2時～3時ごろになる。	気温は、太陽の高さがいちばん高くなる正午ごろよりも遅れて、午後2時～3時ごろにいちばん高くなります。
問5	答え 青空が見えているとき	雲があっても、青空が見えているときのことを「晴れ」といいます。
問6	答え 風通しのよい日かげ	気温は、風通しのよい日かげではかる決まりになっています。
問7	答え 気温	気温の折れ線グラフでは、たてのじくに気温をとり、横のじくに時こくをとります。
問8	答え 晴れた日	晴れた日は、雨の日やくもりの日にくらべて、1日の気温の変化が大きくなります。
問9	答え 日光が直 接当たらない日かげ	気温は空気そのものの温度のことなので、日光が直 接温度計に当たって温度計自体が温まらないよう、日かげで風通しのよい場所で測ります。
問10	答え 小さくなります	くもりや雨の日は、晴れた日にくらべて1日の気温の変化が小さくなります。
問11	答え 水がはやくしみこむ。	土のつぶが大きいと、つぶとつぶの間のすき間が大きくなるため、水がはやくしみこみます。
問12	答え 水のしみこみ方	土のつぶの大きさによって、水が地面にしみこんでいく速さや様子（水のしみこみ方）にはちがいがあります。
問13	答え 温度計が直 接あたためられて、正しい気温がはかれなくなるから。	温度計に日光が直 接当たると、温度計自体があたためられてしまい、正しい空気の温度がはかれなくなります。
問14	答え 晴れ	空に雲があっても、青空が見えているときの天気を「晴れ」といいます。
問15	答え 地面を流れる水	雨がふったあと、地面の傾きにそって高いところから低いところへ動いていく水は、地面を流れる水です。
問16	答え 気温の折れ線グラフ	1日の気温の変化を表すときには、横のじくに時こく、たてのじくに気温をとった「気温の折れ線グラフ」を使います。